

図 1

手賀沼水草探検隊で、浅間先生がお持ちの藻掻きを参考に、藻掻き（もどき）を作成してみました。

全体の構造は、図1のとおりです。実際の仕組みは、図2をご覧ください。円板AとBは、ネジとナットで、固定されています。円板A,Bには、中心部にそれぞれ穴が開いており、ネジ棒Dが固定されずに貫通しています。ネジ棒Dには、円板Cが固定されています。鉤（かぎ）が、円板Bに可動性が保たれたまま取り付けであり、円板Cの穴を通っています。円板Cの鉤の通る穴は、円板Bの鉤の取り付け部より、円板の外周寄りに開いています。このため、鉤は、ネジ棒Dに対し、角度がついており、ネジ棒Dをスライドさせると、それに応じ、鉤が開閉する仕組みとなっております。

工具などをお持ちであれば、材料費は、約1,000～1,500円程度です。（金属加工が初めての方向けに説明しているのので、文章は長いですが、実際の作業時間は長くはありません。円板の穴あけが済めば、組み立ては、数十分です。）

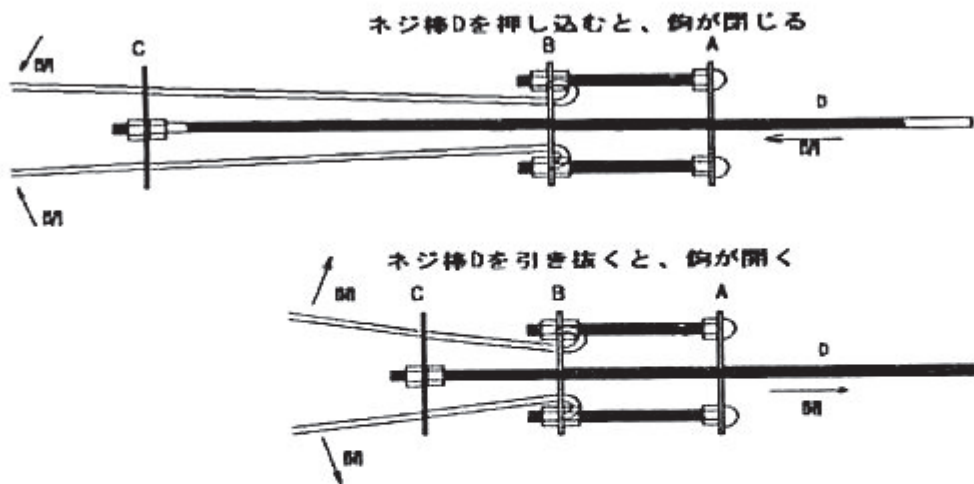


図 2

（金属の加工をするので、怪我などには十分ご注意ください。できれば手袋や安全メガネなどを使って下さい。思わぬ事故を防げます。ドリル等の穴あけの際に出る削りかすでも、思わぬ怪我をします。ご注意ください。各個人の責任の下に、お願いいたします。）